（問１）

「敦盛の最期」の敦盛が覚悟したことがわかる言葉や行動の描写を引用し、敦盛が覚悟したときの考えを書きなさい。

《解答例》

・『平家物語』の「敦盛の最期」では、**熊谷が「返させたまへ」と呼びかけた際に「招かれてとつて返す」行動**や**「なんぢがためにはよい敵ぞ。名のらずとも首をとつて人に問へ。見知らうずるぞ。」「ただ、とくとく首をとれ。」という発言**から、**逃げ帰ったり抵抗したりすれば自分や平家の恥になるので、潔く熊谷に首を差し出そうとしており、敦盛は自分の死期を悟っている**ことが分かる。

・『平家物語』の「敦盛の最期」では、**「扇を上げて招きければ、招かれてとつて返す」という行動**から、敦盛が位の高い武士として最後まで戦い抜く覚悟を決めたことがわかる。また、**名を名乗らないまま「ただ、とくとく首を取れ。」という発言**から、自身の死を悟り、潔く受け入れようとする覚悟を決めたことがわかる。これらの描写から、**敦盛は、武士として恥は見せたくないという強い思いや、名高い平家一門のプライドをもっている**と考えられる。

《解答類型》

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （正答の条件）  ①それぞれの人物が覚悟したことがわかる言葉や行動の描写を引用している。  ②引用した描写から、その人物のどのような考えがわかるか書いている。 | | 正答 |
| 1 | 条件①・②を満たして解答している。 | ◎ |
| 2 | 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答している。 |  |
| 3 | 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答している。 |  |
| 99 | 上記以外の解答 |  |
| 0 | 無解答 |  |

〔思考力、判断力、表現力等〕に関わるもの

**緑　　　：根拠となる文章を引用している**

**紫　　　：文章を読んで理解したことや考えたこと**

（問２）

あなたが選んだ本の登場人物一人が覚悟したことがわかる言葉や行動の描写を引用し、その人物が覚悟したときの考えを書きなさい。

《解答例》

・『空中ブランコ乗りのキキ』では、**「お前さんは、明日の晩四回宙返りをやるつもりだね」「ええそうです」「死ぬよ」「いいんです。死んでも」「おまえさんは、お客さんから大きな拍手をもらいたいという、それだけのために死ぬのかね」「そうです」というキキとおばあさんとの会話**から、**キキは死んでもいいという覚悟で四回宙返りをしてお客さんからの拍手をもらおうと期待している**ことが分かる。

・『モチモチの木』では、**「豆太ほどおくびょうなやつはいない」と評される豆太が、苦しむじさまを見て「イシャサマヲ、ヨバナクッチャ！」と発言する場面から、豆太が暗いとうげみちを一人で下る覚悟を決めたことがわかる**。「**だいすきなじさまのしんじまうほうが、もっとこわかったから」という描写からもわかる**ように、**豆太は、自身の恐怖よりもじさまを救いたいという思いを強くもっている**と考えられる。

《解答類型》

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （正答の条件）  ①それぞれの人物が覚悟したことがわかる言葉や行動の描写を引用している。  ②引用した描写から、その人物のどのような考えがわかるか書いている。 | | 正答 |
| 1 | 条件①・②を満たして解答している。 | ◎ |
| 2 | 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答している。 |  |
| 3 | 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答している。 |  |
| 99 | 上記以外の解答 |  |
| 0 | 無解答 |  |

〔思考力、判断力、表現力等〕に関わるもの

**緑　　　：根拠となる文章を引用している**

**紫　　　：文章を読んで理解したことや考え**

（問３）

問１と問２を踏まえて、「覚悟」とはどういうものか、あなたの考えを書きなさい。

　〈条件１〉問１と問２で書いた二人の考えの共通点や相違点を書くこと。

　〈条件２〉あなた自身の経験をふまえて書くこと。

《解答例》

・**敦盛は逃げることがかなわない状況で生きることをあきらめている部分があるのに対し、キキは死んでもいいから四回宙返りをしてお客さんの拍手をもらおうとしている。敦盛とキキの相違点は、迫られた大きな選択を前向きにとらえているか否かということである。**

**私は体育で跳び箱をしているときに、「失敗したらどうしよう」という不安が大きく、すぐに跳ぶことができなかった。けれど「失敗してもいいから、まずはやってみよう」と考え直して、跳ぶことができた。**このことから考えると、**私の考える覚悟はキキに近い**と言える。これらを踏まえて、**「覚悟」とは「迷いを捨てて、自分のやるべきことだけを考えて前向きに行動することを心に決めること」だ**と考える。

・**敦盛と豆太の共通点は、追い詰められた状況において、個人の思いや恐怖よりも自身が背負っている人々を守るために行動するところ**だ。**私はこれまで、宿題をし忘れてしまったときに正直に先生に伝えることが大きな覚悟だと思っていた。しかし、私の場合は、追い詰められた状況ではあるが自分一人だけの問題であり、二人のように周囲の人々に影響する問題ではなかった。**これらを踏まえて、**覚悟とは「困難な状況に置かれたとき、自分よりも周囲を守るために勇気をもって行動を起こそうと心構えをすること」だ**と考える。**自分一人の問題ではなく周囲を巻き込む問題に関わる方が、強い覚悟が見られるのではないか**と考えた。

《解答類型》

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | （正答の条件） 次の条件を満たして解答している。  ①二人の人物の共通点または相違点を書いている。  ②自身の経験について書いている。  ③「覚悟」について自分の考えを述べている。 | 正答 |
| 1 | 条件①～③を満たして解答している。 | ◎ |
| 2 | 条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答している。 |  |
| 3 | 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答している。 |  |
| 4 | 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答している。 |  |
| 99 | 上記以外の解答 |  |
| 0 | 無解答 |  |

〔思考力、判断力、表現力等〕に関わるもの

**赤：文章を読んで、関連する知識や経験を想起している**

**青：理解したことや考えたことを結び付けている**

**桃：自分の考えを広げたり深めたりしている**